

Lev

Chapter 1

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

וַיִּקְרָא אֶל־ מֹשֶׁה מִן־הַר יְהוָה וַיִּדְבֶּר אֵלָיו מֵאֵל מוֹעֵד לֵאמֹר: 1
言っ 会見の から-幕屋の 彼に 主 として-語られた モーシェ に として-呼ばれた
H0559 H4150 H0168 H0413 H3068 H1696 H4872 H0413 H7121

主はモーセを呼び、会見の幕屋からこれに告げて言われた、

וְדַבֵּר אֶל־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם כִּי־ יִקְרִיב 2
捧げるなら もし 人が 彼らに として-言いなさい イスラエルの 子らに に 語りなさい
H7126 H0120 H0413 H0559 H3478 H0413 H1696

מִמְּכֶם קָרְבָּן לַיהוָה מִן־הַבְּהֵמָה מִן־הַבְּקָר וְיִמֹן־ 3
また-から 牛の-群れから から 家畜の-中から から 主に 捧げ物を あなたがたの-中から
H1241 H0929 H3068

הַצֹּאן תִּקְרִיבוּ אֵת־ קָרְבְּנֵיכֶם: 4
を 捧げなければならない 羊の-群れから
H0853 H7126 H6629

「イスラエルの人々に言いなさい、『あなたがたのうちだれでも家畜の供え物を主にささげるときは、牛または羊を供え物としてささげなければならない。』

אִם־ עֲלָה קָרְבְּנוֹ מִן־ הַבְּקָר זָכָר תָּמִים 3
傷のないものを 雄で 牛の-群れからなら から 彼の-捧げ物で 全焼の-捧げ物が もし
H8549 H2145 H1241

וְיִקְרִיבוּ אֶל־ פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד יִקְרִיב אֹתוֹ 4
それを 捧げなければならない 会見の 幕屋の 入り口の に 捧げなければならない
H0853 H7126 H4150 H0168 H6607 H0413 H7126

לְרִצְנוֹ לִפְנֵי יְהוָה: 5
受け入れられるために 主の 御前で
H3068 H6440 H7522

もしその供え物が牛の燔祭であるならば、雄牛の全きものをささげなければならない。会見の幕屋の入口で、主の前に受け入れられるように、これをささげなければならない。

וְיָדוּ וְסָמְךְ עַל־ רֹאשׁ הָעֶלָּה וְנָרְצָה לּוֹ 4
彼の-ために として-受け入れられる 全焼の-捧げ物の 頭の の-上に 手を として-置く
H7521 H3027 H5564

לְכַפֵּר עָלָיו: 5
彼の-ために 贖うために

彼はその燔祭の獣の頭に手を置かなければならない。そうすれば受け入れられて、彼のためにあがないとなるであろう。

5
 אֶהָרֹן אֶהָרֹן אֶהָרֹן אֶהָרֹן אֶהָרֹן אֶהָרֹן אֶהָרֹן אֶהָרֹן אֶהָרֹן
 アハロンの 子らが そして-捧げる 主の 御前で 牛の-群れの 若い-雄牛を を そして-屠る
 H0175 H7126 H3068 H6440 H1241 H0853

אֶשֶׁר- אֶשֶׁר- אֶשֶׁר- אֶשֶׁר- אֶשֶׁר- אֶשֶׁר- אֶשֶׁר- אֶשֶׁר- אֶשֶׁר-
 そこは 周りに 祭壇の の-上に 血を を そして-振りかける 血を を 祭司たちが
 H5439 H4196 H1818 H0853 H2236 H1818 H0853 H3548

מִזְבֵּחַ אֶהָל מוֹעֵד
 会見の 幕屋の 入り口の
 H4150 H0168 H6607

彼は主の前でその子牛をほふり、アロンの子なる祭司たちは、その血を携えてきて、会見の幕屋の入口にある祭壇の周囲に、その血を注ぎかけなければならない。

6
 לְנִתְחֵיהֶּ: אֶתְּחָ וְנִתְחָ הָעֹלָה אֶתְּ וְהִפְשִׁיט
 その-各部に それを そして-切り分ける 全焼の-捧げ物の を そして-皮を-剥ぎ
 H5409 H0853 H5408 H0853 H6584

彼はまたその燔祭の獣の皮をはぎ、節々に切り分けたなければならない。

7
 עַל- עֲצִים וְעָרְכוּ אֶתְּ אֶשׁ הַכֹּהֵן אֶהָרֹן בְּנֵי וְנִתְּנוּ
 の-上に 薪を そして-並べる 祭壇の の-上に 火を 祭司の アハロンの 子らが そして-置く
 H6086 H4196 H0784 H3548 H0175 H5414

הָאֵשׁ:
 火の
 H0784

祭司アロンの子たちは祭壇の上に火を置き、その火の上にたきぎを並べ、

8
 וְאֶתְּ הָרֹאשׁ אֶתְּ הַנִּתְּחִים אֶתְּ הַכֹּהֲנִים אֶהָרֹן בְּנֵי וְעָרְכוּ
 そして 頭と と 切り分けた-肉を を 祭司たちが アハロンの 子らが そして-並べる
 H0853 H0853 H5409 H0853 H3548 H0175

הַמִּזְבֵּחַ: עַל- אֶשׁ הָאֵשׁ עַל- אֶשֶׁר הָעֲצִים עַל- הַפֶּדֶר
 祭壇の の-上に ある それは 火の の-上に ある それは 薪の の-上に 脂肪を
 H4196 H0784 H6086 H6309

アロンの子なる祭司たちはその切り分けたものを、頭および脂肪と共に、祭壇の上にある火の上のたきぎの上に並べなければならない。

9
 הַכֹּל אֶתְּ הַכֹּהֵן וְהִקְטִיר אֶתְּ בְּמַיִם יְרִתֵּן וְכָרְעוּ וְקָרְבוּ
 すべてを を 祭司が そして-焼いて-煙にする 水で 洗う そして-足を そして-内臓と
 H3605 H0853 H3548 H4325 H7364 H3767 H7130

ס לַיהוָה: נִיחֹן רֵיחַ אֶשָׁה עֹלָה הַמִּזְבֵּחַ
 主への ための 良い-香りの 火による-捧げ物 全焼の-捧げ物として 祭壇の-上で
 H3068 H5207 H7381 H0801 H4196

その内臓と足とは水で洗わなければならない。こうして祭司はそのすべてを祭壇の上で焼いて燔祭としなければならない。これは火祭であって、主にささげる香ばしいかおりである。

10
 הָעֲזִים מִן- אֹ אוֹ הַקְּשָׁבִים מִן- קָרְבָּנוֹ הַצֹּאן מִן- וְאִם-
 山羊から から または 子羊から から 彼の-捧げ物が 羊の-群れから から そして-もし
 H5795 H3775 H6629

יִקְרִיבוּ: תָּמִים זָכָר לְעֹלָה
 捧げなければならない 傷の-ないものを 雄で 全焼の-捧げ物として
 H7126 H8549 H2145

もしその燔祭の供え物が群れの羊または、やぎであるならば、雄の全きものをささげなければならない。

11 וְשָׁחַט וְשָׁחַט אֹתוֹ עַל יַד הַמִּזְבֵּחַ צָפֹנָה לְפָנֵי יְהוָה וּזְרָקוּ בְנֵי
 子らが 御前で 北側で 祭壇の 側面で の それを そして-屠る
 H2236 H3068 H6440 H6828 H4196 H3409 H0853

אֶהְרֹן וְהַכֹּהֲנִים אֶת-דָּמֹו עַל-הַמִּזְבֵּחַ סָבִיב:
 アハロンの 祭司たちが を その-血を の-上に 祭壇の 周りに
 H0175 H3548 H0853 H1818 H4196 H5439

彼は祭壇の北側で、主の前にこれをほふり、アロンの子なる祭司たちは、その血を祭壇の周囲に注ぎかけなければならない。

12 וְנָתַח אֹתוֹ לְנִתְחָיו וְאֶת-רֹאשׁוֹ וְאֶת-פִּדְרוֹ וְעֵרָף
 それを そして-切り分ける その-各部に そして その-頭と そして その-脂肪を
 H0853 H5408 H0853 H5409 H0853 H6309

הַכֹּהֵן אֹתָם עַל-הָעֵצִים אֲשֶׁר עַל-הָאֵשׁ אֲשֶׁר עַל-הַמִּזְבֵּחַ:
 祭司が それらを の-上に 薪の それは の-上に 火の それは の-上に
 H3548 H0853 H6086 H0784 H4196

彼はまたこれを節々に切り分かち、祭司はこれを頭および脂肪と共に、祭壇の上にある火の上のたきぎの上に並べなければならない。

13 וְהִקְרַב וְהִקְרַעְתָּם וְיָרְתָן בַּמַּיִם וְהִקְרִיב וְהִקְרַב הַכֹּהֵן אֶת-כָּל
 そして-内臓と そして-足を そして-洗う 水で そして-捧げる 祭司が を すべてを
 H7130 H3767 H7364 H4325 H7126 H3548 H0853 H3605

וְהִקְטִיר וְהִקְטִיר הַמִּזְבֵּחַ עֹלָה הוּא אֲשֶׁר רֵיחַ נִיחֹחַ
 そして-焼いて-煙にする 祭壇の-上で 全焼の-捧げ物 それは 火による-捧げ物 良い-香りの
 H4196 H0801 H7381 H5207

לְיְהוָה: פ
 主への
 H3068

その内臓と足とは水で洗わなければならない。こうして祭司はそのすべてを祭壇の上で焼いて燔祭としなければならない。これは火祭であって、主にささげる香ばしいかおりである。

14 וְאִם מִן-הָעוֹף קָרְבָנוֹ לְיְהוָה וְהִקְרִיב וְהִקְרִיב
 そして-もし から 鳥の-中から 全焼の-捧げ物を 彼の-捧げ物として 主に
 H5775 H3068 H7126

מִן-הַתְּרִים אֹו מִן-בְּנֵי הַיּוֹנָה אֶת-קָרְבָנוֹ:
 から 山鳩から または 雛の 鳩の を 彼の-捧げ物を
 H8449 H0853 H3123

もし主にささげる供え物が、鳥の燔祭であるならば、山鳩と、または家鳩とのひなを、その供え物としてささげなければならない。

15 וְהִקְרִיב וְהִקְרִיב הַכֹּהֵן אֶל-הַמִּזְבֵּחַ וּמָלַק אֶת-רֹאשׁוֹ
 そして-捧げる 祭司が 祭壇に に 祭壇に 祭壇の-上に
 H7126 H3548 H0413 H4196 H4454 H0853

וְהִקְטִיר וְהִקְטִיר הַמִּזְבֵּחַ עֹלָה קִיר הַמִּזְבֵּחַ:
 そして-焼いて-煙にする 祭壇の-上で 祭壇の-上に 壁の 祭壇の
 H4196 H7023 H1818 H4680

祭司はこれを祭壇に携えて行き、その首を摘み破り、祭壇の上で焼かななければならない。その血は絞り出して祭壇の側面に塗らなければならない。

הַמִּזְבֵּחַ	אֵצֶל	אֹתָהּ	וְהִשְׁלִיךְ	בְּנִצְתָהּ	מִרְאֲתוֹ	אֶת־	וְהִסִּיר	16
祭壇の	そばの	それを	そして-投げる	その-羽と-共に	その-素囊を	を	そして-取り除く	
H4196	H0681	H0853	H7993	H5133	H4760	H0853	H5493	

הַדָּשָׁן:	מְקוֹם	אֶל־	קְדָמָה
灰の	場所の	に	東側に
H1880	H4725	H0413	

またその餌袋は羽と共に除いて、祭壇の東の方にある灰捨場に捨てなければならない。

וְהִקְטִיר	וְיִבְדִּילָהּ	לֹא	בְּכַנְפָיו	אֹתוֹ	וְשָׁסַע	17
そして-焼いて-煙にする	引き離しては-ならない	ない	その-翼の-ところで	それを	そして-裂く	
	H0914	H3808	H3671	H0853	H8156	

הוּא	עָלָהּ	הָאֵשׁ	עַל־	אֲשֶׁר	הָעֵצִים	עַל־	הַמִּזְבֵּחַ	הַכֹּהֵן	אֹתוֹ
それは	全焼の-捧げ物	火の	の-上にある	それは	薪の	の-上の	祭壇の-上で	祭司が	それを
H1931		H0784			H6086		H4196	H3548	H0853

ס	לִיהִנָּה:	נִיחָם	רִיחַ	אֲשָׁה
—	主への	なだめの	良い-香りの	火による-捧げ物
	H3068	H5207	H7381	H0801

これは、その翼を握って裂かなければならない。ただし引き離してはならない。祭司はこれを祭壇の上で、火の上のたきぎの上で燔祭として焼かなければならない。これは火祭であって、主にささげる香ばしいかおりである。